

東京化成、新規酵素を投入

東京化成工業は、製菓産業で最近注目を集めているバイオシミラー（バイオ後続品）への応用が期待できる新しい酵素を8月から発売する。同社が従来販売している糖転移酵素は、転移はするが、酵素の加水分解作用も受けるためハンドリングが難しかった。新製品の「グラライコシスターゼ（Endo-OMN175Q）」は、加水分解活性を抑え、転移活性に特化しているため転移効率が格段に高くなった。均一な糖たん白質を作成することができ、バイオシミラーはもとより、さらに一歩進んで新しいバイオ医薬品の創製にも貢献できると期待している。

ハンドリング容易 バイオ後続品に應用へ

バイオシミラーは、先行バイオ医薬品の特許が満了し、異なる企業が開発する「同等」のバイオ医薬品。バイオシミラーは低分子医薬品の後発品とは異なり、科学的に「同一」ではない異なる物質であり、先行バイオ医薬品と同等・同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品でなければならぬ。そこで、糖たん白質の均一性をどのように拠出するかが課題となる。

均一な糖鎖をたん白質に転移することが可能となつた。同社は、それに必要な各種の糖鎖を揃えていく。構造の明確な糖鎖を

用い、新製品で糖転移反転させることが可能となつた。糖たん白製品をカラムを用いて分取することで規格化された複合糖質を大量に取得すること

用い、新製品で糖転移反転させることが可能となつた。糖たん白製品をカラムを用いて分取することで規格化された複合糖質を大量に取得すること

用い、新製品で糖転移反転させることが可能となつた。糖たん白製品をカラムを用いて分取することで規格化された複合糖質を大量に取得すること

用い、新製品で糖転移反転させることが可能となつた。糖たん白製品をカラムを用いて分取することで規格化された複合糖質を大量に取得すること

多機能表面加工の新技术

衣料・寝装向け 耐洗濯性を向上

（愛知県稲沢市、谷口勝宣社長）は、生体適合性高分子と天然由来ポリフェノールを組み合わせた衣料・寝装向け多機能表面加工技術を本格展開す

る。ヒアルロン酸の2倍の保水力がある日油の生体適合性高分子「リビジュア」を利用するもので、日油と天然由来ポリフェノールメーカーのリリー

業製品の窓ガラス向けにハイクレッドタイプも販売を開始する。EVは二酸化炭素の排出削減に貢献する半面、航続距離の短さに難がある。本製品は紫外線・近赤外線を99%カット、車内の冷暖房使用の低減につなげ、航

る。ヒアルロン酸の2倍の保水力がある日油の生体適合性高分子「リビジュア」を利用するもので、日油と天然由来ポリフェノールメーカーのリリー

業製品の窓ガラス向けにハイクレッドタイプも販売を開始する。EVは二酸化炭素の排出削減に貢献する半面、航続距離の短さに難がある。本製品は紫外線・近赤外線を99%カット、車内の冷暖房使用の低減につなげ、航

る。ヒアルロン酸の2倍の保水力がある日油の生体適合性高分子「リビジュア」を利用するもので、日油と天然由来ポリフェノールメーカーのリリー

断熱遮熱ガラス UVコート

相次ぎ新製品投入

EVなどの窓ガラス向け ハイグレード版も

PAINT

首都圏を中心に塗装業を展開し、塗料・コーティング材の販売も手掛けるPAINT（東京都港区、二宮正行社長）は、ガラス用遮熱断熱UVコートの新製品を相次ぎ市

場投入する。同社は2009年に、ケイ素を主材料とし有機塗料と無機塗料の長所を併せ持った2液タイプハイブリッド塗料「AQ シールド」シリーズを上市し、塗料事業に参入した。今後は、ガラス用遮熱断熱UVコートのラインアップも拡充

し、市場シェア拡大を図っていく。

このほど発売した「同Z1」はアンチモンドーフ酸化スズを配合したガラス用遮熱断熱コーティング材で、紫外線を98%、近赤外線を80%カットし、省エネ、節電に対応する。特殊シリカとチノ

レベルの金属粒子・電磁波防止用金属の配合で、室内の暖房時放射熱も吸収し、室内側に再放射するため、窓ガラスの熱を逃げていく。密着性に優れ、プライマーが必要なく、1コートで塗装可能。屋内外ガラスやアクリル、ポリエステル、

ポリカーボネート、塩ビなどの透明な素材に塗布できる。透明な塗膜で12年以上の耐候性、耐久性がある。

また、同Z1のシリーズ製品も相次ぎ投入を予定している。

8月下旬には同製品の新型バージョンを上市する。Z1に比べベンジナール臭を抑え、老人ホームや学校などでの使用にも配慮した。また、1液型に改良し、鉛筆硬度を9Hに高めている。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

同社は前中期事業計画「Forward2010」において、10年度の売上高242億円を目標に取り組んできたが、国内肥料需要の低迷や年度末に発生した東日本大震災の影響で未達となった。

ファイブ・スペシャリティ

非肥料事業を育成

化粧品原料など収益拡大

片倉チツカリン 片倉チツカリンは、2011年度の中期事業計画「復活2013」で非肥料事業を育成する。化粧品原料事業や食品・農産物事業の拡大により、現状ほぼゼロのセグメント別営業利益構成比を13年度に7%に高める。

片倉チツカリン

片倉チツカリンは、2011年度の中期事業計画「復活2013」で非肥料事業を育成する。化粧品原料事業や食品・農産物事業の拡大により、現状ほぼゼロのセグメント別営業利益構成比を13年度に7%に高める。

高耐食の新プロ、金使用量減で低

金使用量減で低プロロキニ比べて金メッキの厚みを大幅に抑制しており、これによって30%のコストダウンが可能になるといふ。すでにこの新

用途は作業服や食品・病院用途の白衣、介護分野やオフィスなどの各種機能